



2022年4月9日(土) → 7月3日(日)  
**世田谷文学館** ※日時指定制

開館時間＝10:00～18:00（展覧会入場、ミュージアムショップは17:30まで） 休館日＝毎週月曜日  
 観覧料＝一般 1,000円／65歳以上・大学生・高校生 600円／小・中学生 300円／障害者手帳をお持ちの方 500円（ただし大学生以下は無料）  
 主催＝公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館、朝日新聞社、白泉社  
 協力＝アリス館、PHP研究所、ブロンズ新社、ポブラ社 後援＝世田谷区、世田谷区教育委員会  
 グラフィックデザイン：大島依理恵／会場構成：五十嵐理衣

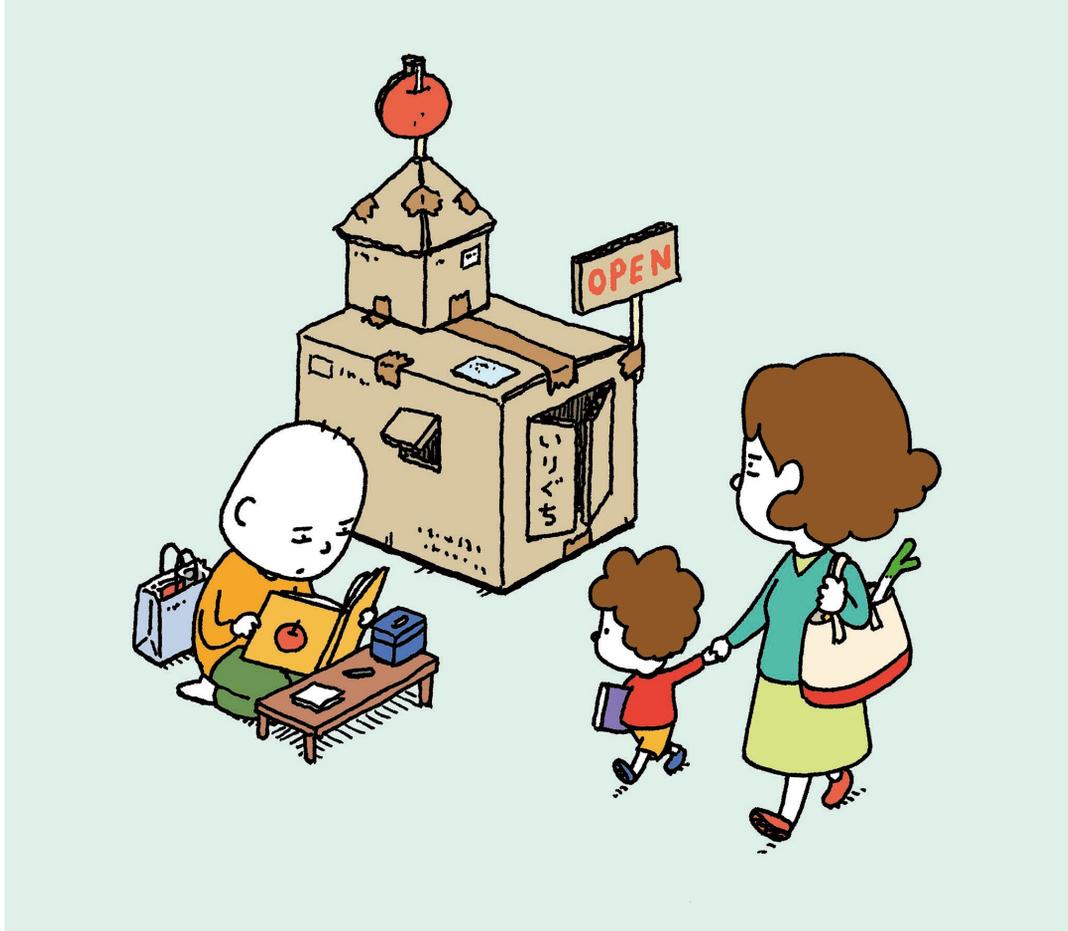
©Shinuke Yoshitake

画像01 展覧会ポスター

**プレス関係の皆様へのお願い**

展示会場を直接ご取材いただく場合は、必ず受付にお声がけください。  
 会場内は撮影可ですが、個人利用の範囲での撮影許可とさせていただきます。  
 当館発行のプレスリリースの内容を越える記事につきましては、  
 事前に基本情報とクレジット表記について確認をさせていただきますようお願いいたします。

## ヨシタケシンスケ展かもしれない



2022年4月9日 [土] ~ 7月3日 [日]

画像 02 ヨシタケシンスケ展のイメージ ©Shinsuke Yoshitake

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』（2013年）以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。頭のなかに広がる果てしない妄想やアイデア、クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を細いペン先で描き続け、多くの人々をひきつけています。

ヨシタケさんは絵本を出版する以前から、イラストレーター、造形作家として活躍してきました。初の大規模個展となる本展では、発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約400点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。発想の豊かさに支えられたヨシタケさんの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。

広報に関するお問合せ：世田谷文学館学芸部 宮崎、佐野

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10 TEL: 03-5374-9111 / FAX: 03-5374-9120

# PRESS RELEASE

# SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

## 概要

- 【展覧会名】 ヨシタケシンスケ展かもしれない  
【会 期】 2022年4月9日（土）～7月3日（日） ※日時指定制
- 【会 場】 世田谷文学館 2階展示室 <https://www.setabun.or.jp/>  
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 TEL 03(5374)9111 / Fax 03(5374)9120
- 【開館時間】 10:00～18:00 ※展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで
- 【料 金】 一般 1,000（800）円／65歳以上・大学・高校生 600（480）円／小・中学生 300（240）円／  
障害者手帳をお持ちの方500（400）円（ただし大学生以下は無料）  
※（ ）内は団体割引と「せたがやアーツカード」割引料金
- 【休 館 日】 毎週月曜日  
【交通案内】 京王線：「芦花公園」駅南口より徒歩5分  
小田急線：「千歳船橋」駅より京王バス（千歳烏山駅行）利用、「芦花恒春園」下車徒歩5分
- 【主 催】 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館、朝日新聞社、白泉社  
【協 力】 アリス館、PHP研究所、ブロンズ新社、ポプラ社  
【後 援】 世田谷区、世田谷区教育委員会

●グラフィックデザイン：大島依提亜 / 会場構成：五十嵐瑠衣

### 【チケット販売情報】

本展では混雑緩和のため、日時指定券のご購入をお願いしております。

詳細はオンラインチケットサイトをご覧ください。 <https://e-tix.jp/setabun/>

- 未就学児はご予約の必要はありません。
- 当日券の予定枚数が終了している場合はご入場いただけません。
- お電話でのご予約は受け付けておりません。
- 週末・祝休日・会期末は混雑が予想されます。平日、会期前半のご来場をお勧めいたします。

### 【ご来館にあたって】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご入館時にマスク着用と検温等のご協力をお願いしております。
- 駐車場は利用台数が限られます。公共交通機関のご利用をお願いします。
- 展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合があります。ご来館前に当館ウェブサイトをご確認ください。

同時開催コレクション展 開館25周年記念セタブン大コレクション展 PART II 一山ありてわが人生は楽しー  
2022年4月9日（土）～9月11日（日）  
次回企画展 萩原朔太郎展（仮） 2022年10月1日（土）～2023年2月5日（日）

# PRESS RELEASE SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

## 展覧会について

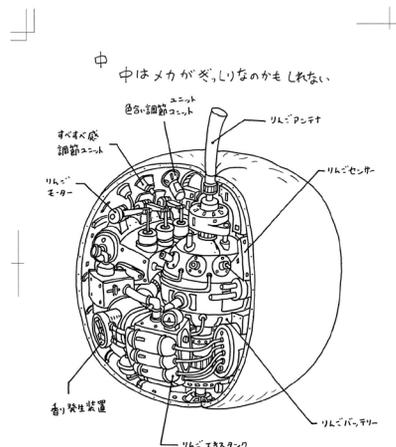
### ヨシタケシンスケ、初の大規模展覧会

絵本原画やアイデアスケッチ、立体作品、愛蔵コレクションなど約400点以上を展示。本展のために作家自ら考案した体験展示などの仕掛けをはじめ、会場にはヨシタケさんからのスペシャルメッセージも！

### 「かもしれない」で広がる世界

デビュー作『りんごかもしれない』は、どこにでもあるひとつのりんごから想像をふくらませ、視点を変えたり、「本当にそうなのだろうか」と、じっくり考えてみたりする楽しさがあります。

「ヨシタケシンスケ展かもしれない」を体験したあとは、いつも何気なく見ているものが、ちょっぴり変わって見えるかもしれません。



画像03  
『りんごかもしれない』原画（部分） ©Shinsuke Yoshitake

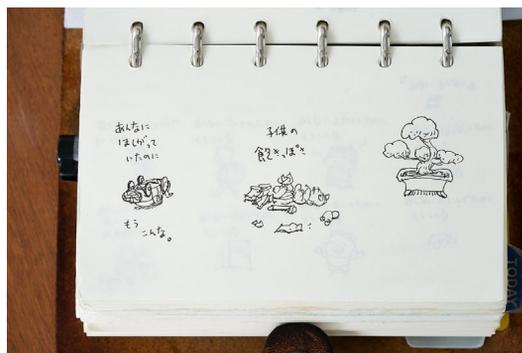
## 見どころ

### 発想の源！スケッチ約2,000枚を大公開！

絵本作家としてデビューする以前から、ヨシタケさんが日々描きためてきたスケッチの数々。

常に持ち歩いている手帳には、ヨシタケさんの果てしない妄想やアイデア、世界の見え方がつまっています。

本展では、約13×8センチメートルの小さな紙に描かれた一万枚を超える膨大なスケッチから約2,000枚を複製して一挙に公開。ヨシタケさんの「頭のなか」をのぞいてみます。



画像09  
愛用の手帳（『あんなにあんなに』スケッチ）撮影：野澤巨伸

### 絵本の世界が体感できる会場

『りんごかもしれない』をはじめ、『つまんない つまんない』『なつみはなんにでもなれる』など約20作の人気絵本から、原画や構想段階のアイデアスケッチを多数ご紹介します。ヨシタケさんのアイデアから生まれた体験展示など、大人も子どもも体と心を動かして楽しめます。

### ヨシタケシンスケの「謎」にせまる

絵本を出版する以前から、イラストレーターや造形作家として活躍してきたヨシタケさん。その独自の発想はどこからやってくるのでしょうか。学生時代の立体作品や、アトリエに保管されていた貴重な私物コレクションから、作家のインスピレーションの源を探ります。

# PRESS RELEASE SETABUN

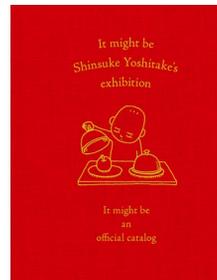
ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

## 展覧会図録、グッズ

『ヨシタケシンスケ展かもしれない公式図録 こっちだったかもしれない』  
(白泉社)を販売(税込2,970円)。

展覧会オリジナルグッズもお楽しみに！

詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。 <https://yoshitake-ten.exhibit.jp/>



参考画像：公式図録

## 関連イベント

『かみはこんなに くちゃくちゃだけど』出版記念 (白泉社 2022年4月)

フォトスポットやぬり絵が楽しめるコーナーを特設。  
ぜひお立ち寄りください。

会場：世田谷文学館 1階 文学サロン 入場無料

会期：4月9日(土)～7月3日(日)

そのほか、イベントについては当館ウェブサイトでお知らせします。



参考画像：「かみはこんなに くちゃくちゃだけど」特設コーナー  
フォトスポット、ぬりえイメージ

## プロフィール



撮影：黒澤義教



画像15  
『つまんないつまんない』白泉社 2017年

1973年神奈川県生まれ。筑波大学大学院芸術研究科総合造形コース修了。2013年に初の絵本『りんごかもしれない』(ブロンズ新社)を出版。これまで『りんごかもしれない』『もうぬげない』(ブロンズ新社)『りゆうがあります』『なつみはなんにでもなれる』『おしっこちょっぴりもれたろう』(PHP研究所)『あつかったらぬげばいい』(白泉社)『あんなにあんなに』(ポプラ社)で7度にわたりMOE絵本屋さん大賞第1位に輝く。『りんごかもしれない』で第61回産経児童出版文化賞美術賞、『つまんないつまんない』(白泉社)の英語版『The Boring Book』で2019年ニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞受賞。

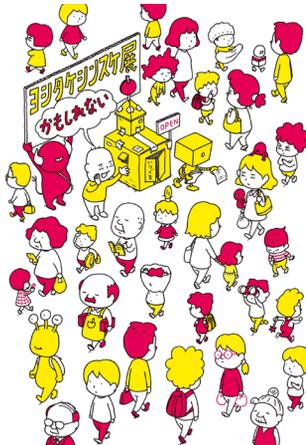
# PRESS RELEASE SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

広報写真



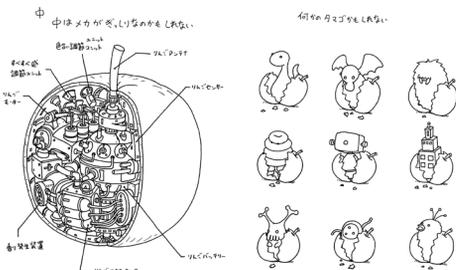
画像01-1 展覧会ポスター



画像01-2 展覧会メインビジュアル  
©Shinsuke Yoshitake



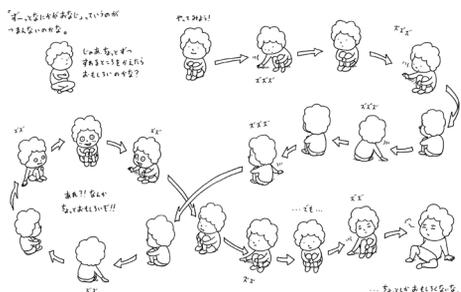
画像02  
「ヨシタケシンスケ展かもしれない」のイメージ  
©Shinsuke Yoshitake



画像03  
『りんごかもしれない』原画 ©Shinsuke Yoshitake



画像04  
『もうぬげない』原画 ©Shinsuke Yoshitake



画像05  
『つまないつまない』原画 ©Shinsuke Yoshitake



画像06  
『おしっこちょっぴりもれたろう』原画 ©Shinsuke Yoshitake



画像07  
『ころばいいのに』原画 ©Shinsuke Yoshitake

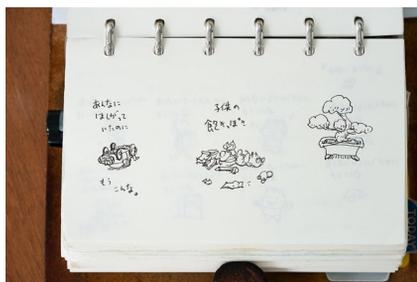
# PRESS RELEASE SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

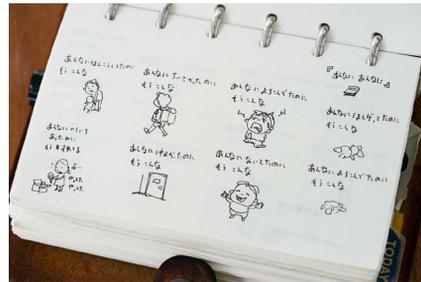
## 広報写真



画像08  
『なつみはなんにでもなれる』アイデアスケッチ



画像09  
愛用の手帳（『あんなにあんなに』スケッチ）  
撮影：野澤巨伸



画像10  
愛用の手帳（『あんなにあんなに』スケッチ）  
撮影：野澤巨伸



画像11  
カブリモノシリーズ《Access100》撮影：三橋純



画像17  
撮影：黒澤義教

画像12  
《ぶくぶく観音》撮影：加藤新作



画像13  
『りんごかもしれない』ポプラ社 2013年



画像14  
『なつみはなんにでもなれる』  
PHP研究所 2016年



画像15  
『つまないつまない』白泉社 2017年



画像16  
『あんなにあんなに』ポプラ社 2021年

# PRESS RELEASE SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

広報写真 会場風景



会場画像01  
撮影：黒澤義教



会場画像02  
撮影：黒澤義教



会場画像03  
撮影：黒澤義教



会場画像04  
撮影：黒澤義教



会場画像05  
撮影：黒澤義教

# PRESS RELEASE SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

広報写真 会場風景



会場画像06  
©Shinsuke Yoshitake 撮影：黒澤義教



会場画像07  
撮影：黒澤義教



会場画像08  
撮影：黒澤義教



会場画像09  
撮影：黒澤義教



会場画像10  
撮影：黒澤義教

# PRESS RELEASE SETABUN

ヨシタケシンスケ展かもしれない  
It might be Shinsuke Yoshitake's exhibition

## ヨシタケシンスケ展かもしれない 広報用画像借用書

世田谷文学館学芸部 広報担当 行

**Eメール [webmaster@setabun.net](mailto:webmaster@setabun.net) FAX 03-5374-9120**

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記利用条件をご確認のうえ、本紙データをファックスまたはEメールにてご提出ください。なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。また、発行後、掲載誌を1部お送りください。

### 【広報用画像利用条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◆画像データは、ご使用後必ず消去してください。また画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆インターネット上で掲載する場合には、画像をコピーできないよう処置し、会期終了後はWEBサイトから必ず削除してください。

雑誌名・番組名・WEBサイト名 :

媒体種別 (○印記載) : ・新聞 ・雑誌 ・フリーペーパー ・テレビ ・ラジオ ・WEBサイト

情報配信予定日 : 年 月 日 (○印記載 ・発売 ・配信 ・その他 )

御社名 :

御担当者名 :

御住所 :

メールアドレス :

電話番号 : FAX番号 :

### 【画像利用の申請について】※会場写真の一覧は次の11頁をご覧ください

利用希望の画像については、下記にチェック (レ) をして申請してください。赤字箇所はクレジット表記です。

- 画像1-1 展覧会ポスター
- 画像1-2 展覧会メインビジュアル ©Shinsuke Yoshitake
- 画像2 『ヨシタケシンスケ展かもしれない』のイメージ ©Shinsuke Yoshitake
- 画像3 『りんごかもしれない』原画 ©Shinsuke Yoshitake
- 画像4 『もうぬげない』原画 ©Shinsuke Yoshitake
- 画像5 『つままないつままない』原画 ©Shinsuke Yoshitake
- 画像6 『おしっこちょっぴりもれたろう』原画 ©Shinsuke Yoshitake
- 画像7 『ころべばいいのに』原画 ©Shinsuke Yoshitake
- 画像8 『なつみはなんにでもなれる』アイデアスケッチ
- 画像9 愛用の手帳 (『あんなにあんなに』スケッチ) 撮影:野澤亘伸
- 画像10 愛用の手帳 (『あんなにあんなに』スケッチ) 撮影:野澤亘伸
- 画像11 カプリモノシリーズ《ACcess100》撮影:三橋純
- 画像12 《ぶくぶく観音》撮影:加藤新作
- 画像13 『りんごかもしれない』ブロンズ新社 2013年
- 画像14 『なつみはなんにでもなれる』PHP研究所 2016年
- 画像15 『つままないつままない』白泉社 2017年
- 画像16 『あんなにあんなに』ポプラ社 2021年
- 画像17 撮影:黒澤義教

会場写真不要 (会場写真が不要の方はチェックを入れてください)

⇒次ページ (会場写真チェック欄) 10

## 【広報画像・会場画像 利用の申請について】

※申請にあたっては、10頁にある必要事項にご記入いただき、10～11頁をお送りください。  
会場写真を借用しない場合は、10頁のみお送りください。

利用希望の画像については、下記にチェック（レ）をして申請してください。赤字箇所はクレジット表記です。

- 会場画像01    撮影：黒澤義教
- 会場画像02    撮影：黒澤義教
- 会場画像03    撮影：黒澤義教
- 会場画像04    撮影：黒澤義教
- 会場画像05    撮影：黒澤義教
- 会場画像06    ©Shinsuke Yoshitake 撮影：黒澤義教
- 会場画像07    撮影：黒澤義教
- 会場画像08    撮影：黒澤義教
- 会場画像09    撮影：黒澤義教
- 会場画像10    撮影：黒澤義教

以上

## 【その他】

### プレス関係の皆様へのお願い

展示会場を直接ご取材いただく場合は、必ず受付にお声がけください。

会場内は撮影可ですが、個人利用の範囲での撮影許可とさせていただきます。

当館発行のプレスリリースの内容を越える記事につきましては、事前に基本情報とクレジット表記について確認をさせていただきますようお願いいたします。

世田谷文学館